広報こすど
発行所　小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行　矢部藤三郎
編集人

第八回 原水爆禁止世界大会に参加して

地球人が望む世界の平和運動の一つ、核戦争阻止原水爆禁止世界大会は去る八月一日からの予備会議にはじめられ、四日からの大会も海外代表を含め約一万人の参加の中で、各国また各地の平和運動等が話し合われ「平和を愛する」というムードが、いっぱいにかもし出されていた。

核戦争阻止原水爆禁止第八回世界大会平和行進の新潟県代表として去る七月十九日、新潟の県庁前を出発して東京まで歩き通して、八月四日から六日までの世界大会に出席し、行進代表の任務だけは無事果して参りました。本町における連合婦人会の皆様から非常な歓迎接待激励を頂いて、ほんとうに有難うございました。御蔭様で十七日間至って元気に歩き通しました。

ふり返ってみて感じたことは、第一に信念と自信を持つことだと感じました。健康的にはお医者さんから留められた位ですから、正直の処、若干心配でしたが、やるんだやれるんだという信念、この信念こそが、あらゆる困難を克服できたことでした。次に私自身が戦争に行って来たので、戦争の苦しみや惨ギャク性をいやという程体験していきているので、争いのない明るい世の中をつくる為に、少しでもお役に立てばと自分自身にいい聞かせながら、がん張り続けると共に、原水爆禁止を呼びかけ誇りと自信をもって歩き通しました。

従ってどんなに疲れているときでも、集まっていらっしゃる方々の前や沿道の人々の前に立つとキリッと心の引き緊るのを意識しました。

何といっても一番心あたたかく感じたことは、各地に於て婦人会の方々の接待でした。それは一杯の湯茶にも平和への願いが託されているからだと思いました。

暑さも苦労も超越してひたすら平和を祈りながら歩きましたが、田圃や畑の中から手を振り「頑むぞ、頑張れよ」との声には百万人の味方を得た程に勇気と敬虔さが湧いてきました。

ともあれ十七日間を歩き通して八月四日午後四時半漸く台東体育館屋外運動場で開かれる全国行進団代表大歓迎集会場に到着、直ちに檀上の人となり歓迎の挨拶、花束を受け二人の外国代表団と共に全行進代表団を代表して、一万数千名の方を前にして歓迎に応える挨拶と共に無事行進終了の報告をやりました。感激と光栄の一瞬でした。

簡単な夕食後すぐ本会議場に入りました。外国代表の紹介挨拶、大会総長の基調演説、全国行進代表アメリカ婦人二名を含む三十七名の紹介等があって十時五十分、一日目の総会、本会議を終り宿には十一時半面識会をやり寝に就いたのが一時過ぎ。

朝七時半から行進の総括会議、十時頃から三十の分散会に一人づゝ分散出席、六日の総会本会議は午后から開かれるので久しぶりに床屋さんで髪を刈りサッパリとして午后からの本会議に出席。しかし待てど暮せど開会されず、この間いろんな事情が沢山ありますが、八月一日からの予備会議総会分散会等の論議は地道に歩いて行った者の立場から考えるに、余りにも飛躍した論議が多く、しかも話し合いなどという空気でなく、自己を主張する激しい口調の話が多く、外国代表団の地位等ともあわせて腹立たしく感じました。その中でただ原爆の被爆者代表の切々たる訴えには感にうたれました。

総会本会議の混乱等に就ても詳しく書きたいと思いますが、問題が復雑でありかつ知り得なかった部分もありますので省略させて頂きますが、いずれにしても県原水協の代表し、平和の使いとして炎天の中を原水爆禁止の悲願をこめ、沿道の方々に平和を訴えながら歩き、しかも本県全体の皆様から行進に寄せられた平和への願いを託されたと私の立場か静らかに反省しています。勿論、世界大会の論議はそれなりに価値があったと思っていますが、素朴な多くの方々の平和への願いを反映できるような運動なり会議の持ち方等について、大いに考えてみる必要があると痛感して帰りました。杉並区の一婦人の方から始まったこの運動、そして国民運動の場としての原水協を、みんなでみんなのものにする為に勇気をもって、みんなで智恵を出し合い話し合いできるようにしていきたいと念願していますし、独りよがりの押しつけ的な話しや態度は改められなければなりません。

生活に根をおろした運動、生命こそがすべてであり、世の中で生命が安全に守られ一番尊重される世の中を、みんなで作り上げる努力をしなければならないと思います。おしつけにならず、あせらず東京迄歩いたと同じようにと確信していますが、皆様に重ねて御礼を申し上げて筆をおきます。

原水爆禁止平和行進新潟県代表　栗原久平

匿名投書を廃止しよう

壺屋徳一

広報こすどは吾々町民の世論を形成するのに一カ月に一度の大切な欄である。聞くところによれば月間何十通かにのぼる投書数が有ると言うことを聞きおよんでいるが、投書数からして、いかに町民の関心が広報こすどに寄せられているか分りますが、残念ながら投書の大部分は匿名で、住所職業、年令、氏名など具体的でないのが往々にして見受けられるが、私はぜひとも本欄の正しく強い世論を形成するために、匿名の廃止を強く提唱したい。

しかし人間生活というものが、自分と他人との相互関係である以上、匿名の廃止を提唱しても、それは早計であるという人があるかも知れない。だがお互いが町の繁栄を願い、町民全体の安定した幸福な生活を送りたい願いで、一考も三考もして自信をもって投書することであり、広報こすどは原則とし個人の中傷や不健全な内容のものは取扱っておらない、日常生活の中に町政全般という大きな視野にたって、明るい郷土が建設されるように建設的、具体的な内容のものを優先掲載する態度を示しているようで、あるから、投書する者は素直に正しく、強い自分の責任のもとにおいて主張すべきであると思う。

それには匿名など使わず正々堂々と自分の住所氏名を記載して投書することが良識であり、エチケットでもあると思う。

匿名が許され、町民もこれを当りまえのように考えているところに後進性があり、悲しい思いがする。他人の中傷などをおもしろがるより、みんなで本名で本欄を大いに活用して、建設的意見を披露し、住みやすい清潔な町造りに推進致したいと思う。

退任の御挨拶

前小須戸郵便局長　五十嵐徳次

私このたび六月末後に道を開き勇退致しました。教員生活十二年、須戸郵便局長三十一年、カ月と、前後四十三有年間大過なく勤めあげホットし、安堵感と住みなれた部内を離れる侘しさがこもごも胸にせまります。ともかくここまで漕ぎつけましたことは偏に町民の皆さんを始め先輩僚友各位の御支援御庇護の賜と心から感謝申上げます。還暦に近いとは申せ更に何か世の中のお役に立つ仕事を求め、もうひと頑張り余力を尽すつもりであります。どうぞ陋屋近くおすぎの際は是非「五十嵐いるか」とお訪ね下さい。どんなに嬉しかろうと存じます。

また後任の新局長塩田氏を初め、三浦局長代理高橋代理その他いずれもつぶ揃いの職員でありますので、今までより以上に業務の成果も挙げられると存じます。今後とも以上に御支援下さいますよう御願い申上げます。先ずは御挨拶まで。

写真は中学生の協力による発掘作業

大臣賞に輝き勤続三十余年

幾多の功績を残して五十嵐徳次氏勇退

去る六月大臣賞、局長賞等表彰七十八回という大記録を残して小須戸郵便局長五十嵐徳次氏は惜しまれつゝ勇退された。

昭和六年三月、小須戸郵便局長就任以来三十余年この道一筋に生き地方郵政の先達として部内に重きをなし、特に電話網の拡張には私財数十万円を投じ之に尽した功績は大きい。また八月二八日尚退職記念として保育所に参万円、小中学校に拾万円を寄附された。

× ×

「縄文土器」をはじめ

小須戸附近の出土品について

柏大治

矢代田の通弥三蔵坂の丘陵から先般縄文土器の破片や石器らしいものが数個掘り出されました。縄文土器は先史以前の時代のもので、紀元前晋通五千年といわれていて、この時代を早期、前期、中期、後期、晩期と大体五期に別けていますが、縄文土器というのは模様に工夫していて赤草色でカマで焼いてはいるが、後世のカマと違った焼き方をしている関係で土質が弱く出土しても土圧により砕けたに完全なものが出ていません。模様も三様位に別けられるようですこの土器を造った人達は日本の先住民で、おそらく純粋の日本人でありましょうが、クロボック族またはアイヌ人とか、学者によって色々の説を立てていますが、一方明治代に東京本郷の弥生町赤門附近に発掘された土器があります。

これは縄文とは全然形の変った土器で、全体として非常に優雅にできています。従って日本人でも別の民族の造ったものであろうと、弥生町の名前をつけて縄文土器と区分して弥生土器と呼んでいます。この時代も前期、中期、後期と紀元三世紀頃までを弥生時代と弥しています。この弥生の前期から縄文時代を石器時代と称しております。従って矢代田から出土した土器や「ヤジリ」は日本歴史の始まる以前五千年間中の古いものだということになります。

矢代田は皇国地誌によれば、大同元年からの古村だということですが、すでにそれ以前から人類が住居していたことが証明されることになります勿論、縄文時代では農耕は知らず、狩や魚を取って生活していたことが想像されますが、弥生時代の中頃から農耕や村が形成され、青銅が大陸から伝わっております。また紀元三世紀から七世紀頃までを古墳時代と称しています。

古墳の形式は四種ほどありますが、矢代田ではその一種円形型の丸塚も保科家所有畠に縄文土器が出土した附近に一つあります。

縄文土器は黒崎村や巻方面に出ており、その意義といわれれば、そうした地区の出土品を比較研究に役だつと共に只矢代田では三紀層附近から出ているので、地質学的に研究したら面白いのではないかと思います。

縄文土器の出た場所を皆様の御協力で本格的に発掘して古代文化を解明する必要があることと思います。特に丸塚附近は上代の豪族屋敷跡か城跡ではなかったか、地形を研究したいと思います。それに今まで天ケ沢地内六兵衛沢と称する処にカマ跡が発見されました。之は六兵衛という人がセトモノを焼いたという伝説がありますが、然し清水六兵衛と関係のないカマアトで多少崩れてはいるが、発掘したら貴重な資料が得られるのでないかと思います。

すでに須恵器、ハジキ（弥生後の土器）の破片が沢山出ていますし、地下一米位の所では炭が相当残っている個所もあります。また鎌谷地内の田の中からも同様に出ており、まだ大木の根のような物があるという田もあります。

「神器、奈良朝時代」と思われるものが高山友茂氏の田から出土を見ています。蒲原平野は八百年前海湾で、学者の間では土器なし、特に小須戸附近は信濃川の関係で川切れがあってセトモノ舟が沈んだなどという伝説が流布されていますが、今後の研究でこうした学説をくつがえす貴重な資料が得られると思います。切に皆様の御協力を望むしだいです。

小須戸風土記

明治大正 越後侠客物語（その1）

（柏大治）

侠客の定義は知らないが、強きをくじき弱きを助け、義に強く人情に篤い人に推されて親分といわれた人達が越後でも随分いた。

明治、大正の頃のそういった親分衆を紹介してみますと、まず三条では俗に角又、川合又七、長谷川仙念、三富五郎左工門（通称三五親分）、長岡には網助の後日で九里健蔵（この人は足が悪かった）来迎寺では西脇中久がいたし、柿崎では観音寺一家の広野彦太郎、酒屋の戸松珍平、安田の旅人で浜五郎、五泉の今福一家の沼乗熊五郎（本名大野熊五郎）加茂矢立の室橋虎平、蒲ケ島の清五郎、新津奥村三五郎、新潟では伊藤幸松、柴竹寅蔵南部兵吉、小泉安之助、光屋の幸松。それに島の親分といわれた加健治、燕の平田良平、与板の高島屋銀蔵、吉田の志田久四郎、津川の桐野一家といった具合で、まだ顔の良い親分は数えきれないほどいるが、中でも観音寺久左工門の後目を継いだ小須戸の森田喜三次が越後一の大親分であろう。

この人の世盛りはたいしたもので越後は上、中ド越一円に縄張りを持ち白から杯を呉れた者が一千人余り、森田がちょっと外出する時などは北越森田の提灯を高々とあげ明治の廃刀令もよそに一本差しの若い子分数十人を従え往来せましと、ゆうゆうと肩に風を切って歩いた。

当時の若衆は親分とはこういうものかと若き情熱を心ひそかに、この盃莫逆仁義の世界に心を寄せた人達も数多かったという。

越後は小須戸の大親分森田喜三次の世盛りを想起する老人も今は数少なくなったが、森田は星亭に可愛いがられたり、時の平民宰相原敬に林檎の皮をむかせながら、いう食べ居並ぶ高官連を饗え上がらせたことは有名な話しとして残っている。また政界の大物鈴木喜三郎、高橋光威等と始終往来し、彼が上京する時などは胸元深く六連発式の護身用が秘められ、彼が日頃愛用するステッキには日本刀が仕込まれてあった。之らの兇器も森田親分一代大下御免でとおったものだ。特に森田喜三次は全国の大親分衆の中でも重きをおかれ北海道から九州の果てにまで知られていた。

関東一の大親分、東京築地の佃政（本名佃田政太郎）とも兄弟分の約束を結んでいるし、大正の末期には大木伯爵宅で北海道の宮川勇、広島の中川出来太郎、岡山の花房専太郎などの全国屈指の大親分とも盃を交わし、明治、大正、昭和の初期にかけて、越後一の大親分森田喜三次の名は全国に伝わり、特に彼のように生死の中を往来した侠客は全国でも珍らしいということです。

なぎさ

考えてやろう

さる八月五日日曜日は晴天にめぐまれて、町民運動会がニギヤカに開かれていた。会場の中学校グランドは校舎の新築工事で半分は使用できないが、それにもかかわらず元気にレースは進められて行く。

私も運動会役員でもあったので当日は運営に協力をしたのです。会は進められ午后四時には終った。終の整理が始められ七つのテント席と本部席は数分ののちにはタタメられ部落、町内のものは整理と共に自動車又はトレーラにと運んで行ったのであるが、本部の整理は見ていてもかわいそうな気がするのであった。レースに使用したタルやサイダービンなどはリヤカーで集められ、リヤカーで返すのである。部落や町内は自動車でスピーデーにやっているが、本部の公民館では自転車とリヤカーの原始的な用具で、この運動会の準備もまた整理もされているのであろう。「人を多く集めてまた集まってもらって会を進めて行く公民館に、またこの運動会の役員をやってみて、小型自動車は必要である」と私はいいたい。しかも運動会役員は多く作られていたが、職員二名ではやはり半分は機械の力を借りるより方法がないのではないだろうか。町民に楽しみと学習の場所を作ってやるにも、やはり動かねばならないだろう。

町民の「茶の間」として出発した公民館である。町民の自動車というものがあってしかるべきではないだろうか。私が金でもあれば寄贈するのだがうまくいかないのが世の中というのであろうか。関係機関が話し合い、一台の小型自動車を購入してやってもらいたいものだと思う。

（無名の青年）

健康を守るために
医学的知識を

県立小須戸病院、糟谷宗男院長は開院后三年間をふりかえってみて、当地に多い病気の中でちょっとした家庭での注意で防げる病気がかなり多くあることに気ずきその対策にのりだした。

例えば子供の疫痢症状など親が子供の食事及び排便に注意していると、その90％はさけられると思われるし、この地方に多い脚気及びビタミンB等は、食事の改善でさけられる。また病気が回復にむかい退院できても、家庭で食事に対する知識のとぼしいため、再び入院という場合もしばしばあるとのこと。

問題になっている学校給食も、昭和四十年度から実施しなければならぬことになっているので、特に主婦が多少の医学的知識を身につけたならば家族の「健康管理」にも役立ち医療費として、ついやされる不必要な経費をもっと有効に使って、生活の向上ができるのではないかという訳である。

そこで折角町民の要望で建てられた病院でもあるので、町民の健康の為に大いに活用して貰いたいというねらいから婦人会とも話しあって、次のような計画をされた。

一、週三回位の予定で、病院内をいろ／＼見学したり実際に調理実習を行う。

二、各専門医より話しを聞いて医学的な知識を深める。

三、婦人会を対象にして部落別に行いたい。

くわしい内容は次の通りである。

給食科（栄養士、湯浅、桂先生）

病院の給食がどのようになっているか、例えば職員の手や食器の消毒について、栄養食品一日必要量のとり方とか、病気を防ぐ為に家庭で改めなければならない献立及び材料、調味料について又自然色運動の意味などを病院の患者食を試食しながら説明。

外科（川上先生）

最近交通事故がふえて頭のけががふえている。骨折などと違うので病院へ連れて来るまでの処置や、その他救急法ではやけどの家庭での処置などについて話したい。

内科（倉茂先生）

幼小児の病気は勝負が早いので、医者へ来るまで或は往診までにどうしたらよいか、また高血圧心臓病の人の家庭での注意等について。

産婦人科（櫛淵先生）

最近は全国的に病院でお産をする傾向にありますが、正しい避妊法や、この地方に多い脚気による妊娠中毒症の心構えなどについて。

家庭看護科（山口先生）

主婦は家族のふだんの体温をはかって知っておくこと。脈の計り方、便の見方、医者に様子を知らせるには、どんなふうに知らせるか、赤ちゃんの衛生面について改善しなければならぬこと、又消毒薬の作り方を実際にやってみるなど、是非知ってほしいものを順々に話していきたい。

八月二十四日竜玄婦人会員十名が病院で第一回目の実習をやった。

効力発した国民年金
夫を失った主婦に母子年金

拠出制国民年金が生まれて一年ですが、その間保険料を納めていただいてあったが、今年五月以降不幸にして母子や障害の状態になった場合、母子年金は基本額一万九千二百円に、十八才未満の子供一人増すごとに四千八百円加えた額、障害年金は最低二万四千円より最高五万八千円まで支給されるようになっている。

当町でも五月以降八日末までに不幸にして主を亡くした家庭が五件でましたが、二件については保険料未納のためにそれぞれ二万四千円あての年金が支給されることになり、さる八月町長から今後の生活についての励ましと共に、厚生省からの母子年金証書を手渡たされた。

写真は町長より年金証書をもらうHさん

東京通産局管内
「モデル商工会」に内定
小須戸町商工会

中小企業庁では全国で三千数ヵ所ある商工会のうちから一、二ヵ所の普及事業等育成指導全般につき模範とすべきモデル商工会を指定し、過渡期に対処せる全国商工会が一段とレベルアップすることを目的とし、かねてより調査中のところ、小須戸町商工会がその選に入ったとの内報を受け、その責任の重大さを痛感し愈々決意を新たにしている次第であります。

結局は国及び県の補助金が特別に増額され、指導育成事業並びに報告事務等も益々多忙を極め、指定事業を遂行するには現事務所の増築また事務員の補充等の問題も必須であり、今後の運営に関しては会員の一致協力は勿論のこと、全町民の皆様からの御指導御鞭撻を仰がねば到底指定事務の完遂は望めず、紙上をお借りして御報告かたがた今後益々御支援を御願い致します。

（商工会経営指導員）

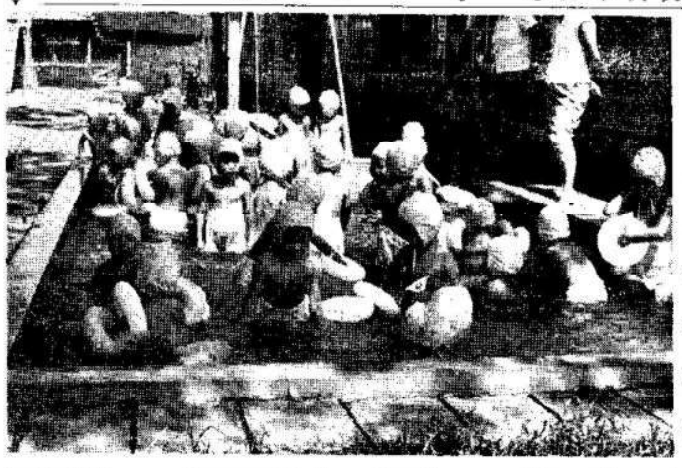
前局長の美挙

さきに小須戸郵便局長を退職された五十嵐徳次さんは、小須戸小及び中学校に金拾万円を、また第一保育所へ金参万円を寄付された。

新団長決まる
小須戸町消防団

小須戸町消防団では、吉田団長の退職に伴ない八月八日付で次の通り団長、副団長が任命された。

消防団長　須藤熙七（小須戸）
副団長　坂井秀吉（小須戸）
副団長　木伏雷太郎（矢代田）



ウキブクロの寄贈
第一保育所へ

第一保育所に園児川のプールを先日寄贈してもらい連日の暑い中で、子供たちは喜んで水遊びを楽しんでいるが、こんどは横町の加藤修二さん（横町㊐分店）よりウキブクロ三六、ウキブクロ用マリ五個が贈られ、一層水遊びが楽しいようで、子供たちも喜んでいる。

釣の研究（その二）
「ヘラ鮒」の習性と釣り方

岡　謙五

先号では最近におけるヘラ鮒釣り動向と、その習性について述べましたが、今回は釣り場と釣り方および道具類について書いてみましょう。

一、釣り場

新潟市を中心とした鳥屋野潟（新池、水光苑前）釣鐘池（鳥屋野）北山池（亀田町北山）ヘラ鮒研究池（黒崎村小平方）の四ヵ所であり、その中で北山池は大物（一尺～尺三寸位まで）が釣れることで知られています。しかし交通が不便であり、むしろ釣れる確実性が高く、かつ初心者に適しており、また交通に恵まれている釣鐘池が一番推奨できるので、この池の状況を簡単に説明します。

場所は新潟行バスにて鳥屋野に下車、約六分で現場に着きます。池の大きさは六〇〇坪位で浅場深場があり、足場もよいために家族連れにも向く手頃な池でしょう。

この池は毎年ヘラ鮒一三〇貫程度（尺以上の大物も含め）を放流して釣り堀となっている関係上釣り料として一〇〇円を必要とします。真夏の最近でも（七月二十日以降八月十二日頃まで）最高一尺五分から九寸五分を上げるだけです。しかし楽んでいますが、本紙がお手許に届く九月には、本格的なヘラ鮒のシーズンに入るため、ヘラ鮒の大釣りができるので期待しておりますが、今でも五厘が大物の為に切られています。

二、釣り方

普通の鮒釣りと異り一本竿を使用します。まず一番好条件と思われるポイントを選び、そのポイントのみに餌を振りこみこれを続けます（寄せ打ち及びウキ下の長さは、ヘラ釣りの一番難かしいポイントとされ、細心の注意力と豊富な経験が必要とされるのです。このようにあれば、高価なウキは必要としません。

針はアゴナシを用いますが、彦兵衛型の四～五号が一番評判がよいように思います。

糸は普通道糸二号（二厘）ハリス一・五号（一厘半）とし、ハリスの長さは二〇～二五センチ程度とし針を二本として、之を三つ環につければ万事OKです。あとは餌（イモのネリ餌）とタモがあれば充分です。

仕掛けは印刷の関係で図で示すことができませんのが残念ですが、一組公民館に提供しておきますので御覧下さい。また二本つなぎの竿受けを用意した方が無難です。

ウキは長さ二〇～三〇cm程度の～ラウキ（百円位）を使用します。一番利用されているのは孔雀の羽根で作ったものですが、近年では南米産の多年草で作ったバルサウキや、スミロイド製と各種多様なものが作られています。

要はヘラの小さい当りでも充分反応を示すものであり、高価なウキは必要としません。

糸はアゴナシを用いますが、彦兵衛型の四～五号が一番評判がよいように思います。

糸は普通道糸二号（二厘）ハリス一・五号（一厘半）とし、ハリスの長さは二〇～二五センチ程度とし針を二本として、之を三つ環につければ万事OKです。あとは餌（イモのネリ餌）とタモがあれば充分です。

仕掛けは印刷の関係で図で示すことができませんのが残念ですが、一組公民館に提供しておきますので御覧下さい。また二本つなぎの竿受けを用意した方が無難です。

ウキは長さ二〇～三〇cm程度の～ラウキ（百円位）を使用します。一番利用されているのは孔雀の羽根で作ったものですが、近年では南米産の多年草で作ったバルサウキや、スミロイド製と各種多様なものが作られています。

要はヘラの小さい当りでも充分反応を示すものであり、高価なウキは必要としません。

三、道具

竿は普通二間半竿が使用されていますが、釣鐘池では二間竿でも充分です（小生は二間半と一三尺のガラス製ヘラ竿を常用）できればヘラ鮒専用のヘラ竿が望ましいが、通常の鮒竿でもよく、初心者の方はむしろ鮒竿を使うべきでしょう。また公民館に提供しておきますので御覧下さい。また二本つなぎの竿受けを用意した方が無難です。

ウキは長さ二〇～三〇cm程度の～ラウキ（百円位）を使用します。一番利用されている孔雀の羽根で作ったものですが、近年では南米産の多年草で作ったバルサウキや、スミロイド製と各種多様なものが作られています。

要はヘラの小さい当りでも充分反応を示すものであり、高価なウキは必要としません。

糸は普通道糸二号（二厘）ハリス一・五号（一厘半）とし、ハリスの長さは二〇～二五センチ程度とし針を二本として、之を三つ環につければ万事OKです。あとは餌（イモのネリ餌）とタモがあれば充分です。

仕掛けは印刷の関係で図で示すことができませんのが残念ですが、一組公民館に提供しておきますので御覧下さい。また二本つなぎの竿受けを用意した方が無難です。

ウキは長さ二〇～三〇cm程度の～ラウキ（百円位）を使用します。一番利用されている孔雀の羽根で作ったものですが、近年では南米産の多年草で作ったバルサウキや、スミロイド製と各種多様なものが作られています。

要はヘラの小さい当りでも充分反応を示すものであり、高価なウキは必要としません。

今月納入の町税

今月は固定資産税第三期分の納期です。

九月の中旬に納付書が配付されますから納期限までに納めて下さい。

なお納期限は九月三十日ですが、日曜日にあたりますので、十月一日（月曜）迄に納めて下さい

プールで遊ぶ子供たち～

御存知ですか？このことを

「台風と税金」

八月九月は台風のシーズンといわれ、又実際に毎年各地に大きな災害をもたらしています。

今月は十三・十四号の台風が近ずいたが、他にそれて胸をなでおろしたことでしょう。だが昨年のように運悪く被害を受けた時、税金はどうなるか心配のことと思いますそれについては所得税法の雑損控除や災害減免法国税通則法により救済の方法がありますから、万一の場合は町役場または税務署でお尋ねの上で手続きをおとり下さい。

自転車の盗難を防ごう

自転車の盗難を防ぐ為の「自転車防犯登録制度」は、本県では昭和三十四年十月から行われており自転車の盗難予防や自転車泥棒を捕えたりする上に非常な成果をあげているばかりでなく、盗まれたり乗りかえられたりした自転車を所持者に返すのにも非常に役立っていますが、一方この制度は未登録の自転車が一台でもあるときは、その効果を十分に発揮することができないのであります。

そこで県防犯協会では現在未登録自転車を持っておられる方から、ぜひ登録をしていただく為に県警察も自転車産業組合の協力を得て、九月中の一ヵ月県下一斉に「自転車登録促進運動」を実施していますから、是非未登録自転車の登録に御協力下いさ。

なお手数料は、自転車一台につき三十円です。自転車店へ持って行けば簡単に登録をうけることができます。

青年団で研修会

小須戸町連合青年団と町教育委員会の共催で、来る九月九日「小須戸町青年研修会」を開きます。当日は県より亀山主事のおいでを願いまがり角に立つ青年団活動や今後における動向など話してもらい、また三人の発表なども含めて一日意義ある研修会にすると共に、今後の活動の土台にしたいと思います。多数の参加をお願い致します。

盆句会

小須戸町俳句同好会

草屋根の草枯れはてぬ大旱り　水月
灰皿に廊一つなし夏座敷　杏水
夕焼の静かに長し稲の花　労人
方丈の真白き蚊帳や今朝の秋　山葵
帰省子の来るに去る子に盆の月　千滝
針子等の来る間の夕餉月見草　向日葵
医院の戸堅く閉して盆休み　旺資
海泳ぐ幾百子等の声時雨　香月
横になり縦になりして昼寝哉　一陽
凧の絵も古き端午の記憶あり　竜朗
魂迎い孫子も来たりにぎやかに　流水

列車時刻の改正
…お知らせ…

九月一日より加茂～東三条間で復線工事が完成され、これにともない左記の通り矢代田駅発列車時刻となりますので、列車利用の皆さんお間違いないようお願い致します

◇上り関係

六時五五分発上野行は
六時五九分に
一二時〇六分発大阪行は
一二時〇五分に
一三時一〇分発長岡行は
一三時〇七分に
一五時五六分発直江津行
一六時〇七分に
一七時三七分越後湯沢行
一七時四一分に
一八時四三分発直江津行
一八時四六分に
二〇時二〇分発長岡行は
二〇時三八分に

◇下り関係

一三時〇一分発新潟行は
一三時〇分に
一四時五九分発新潟行は
一四時四一分に
一八時五六分発新潟行は
一八時四七分に

「映画館」等入場の際は入場券の半片を必ず受取りましょう

◎「タバコ」は町で買いましょう。売上の十一％が町の収入になります。